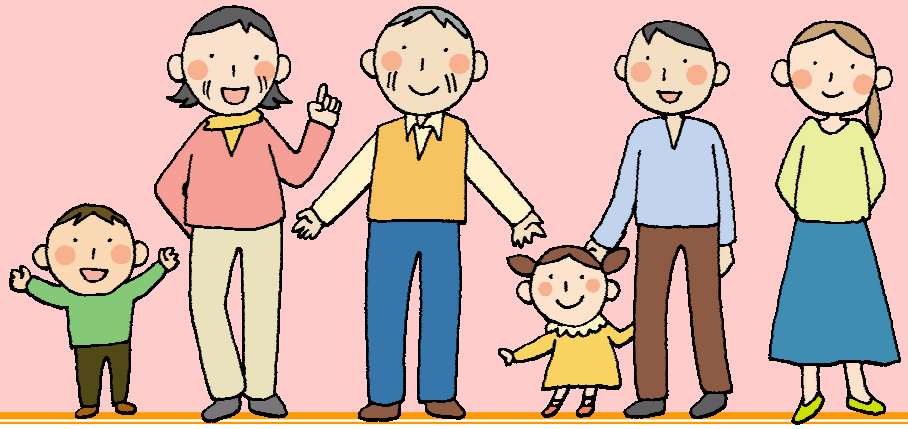
家庭で育み　地域で育む
子どもの健康

府中市次世代育成支援後期行動計画

－ダイジェスト版－

平成22年度～平成26年度



少子化をめぐる状況

背景

少子高齢化の進行
出生率の低下
核家族化やひとり親家庭の増加
子育てにおける負担感の増大
未婚化・晩婚化の進行
共働き家庭の増加
結婚や家族に関する意識の変化
若年失業など若者の社会的自立が困難　など

現象

◇社会保障における現役世代の経済的負担感の増大
◇家庭や地域の子育て力の低下
◇労働力人口の低下
◇子どもへの接し方がわからない親の増加　など

課題

●子育ての意義、家庭の役割等についての理解
●子どもと子育てにやさしい環境の整備
●仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現
●次代の親の育成　など

解決に向けて

国や地方自治体、家庭や地域、学校や企業など、それぞれがそれぞれの立場において、**『安心して子どもを生み育てられるまち』**をともに推進していくことが求められます。

平成22年３月
広島県　府中市

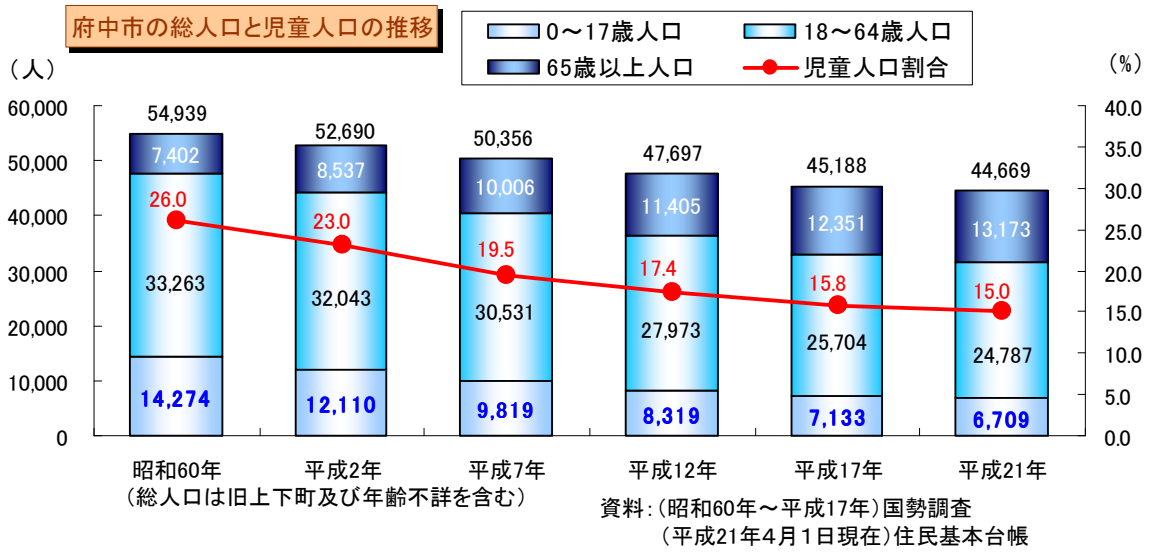
府中市次世代育成支援後期行動計画とは？

● 計画の趣旨

近年、少子化の進行は、労働力人口の減少や今後急速に進む高齢化と相まって、社会保障負担の増加等、社会経済の成長に重大な影響を及ぼすことが懸念されることから、国にとって最重要課題の一つとなっています。

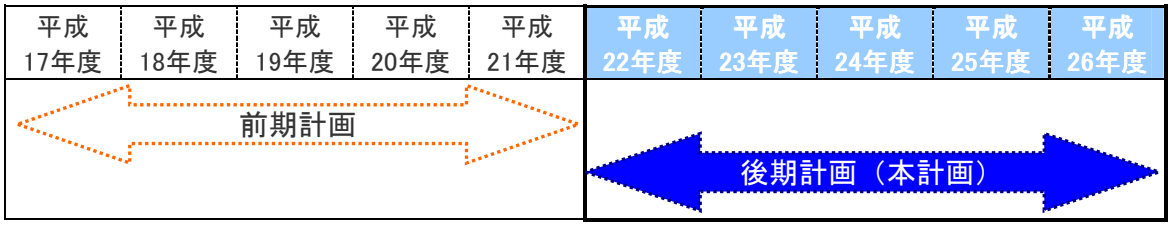
府中市においても、このような現状を踏まえ、平成16年度に府中市次世代育成支援行動計画（前期計画）を策定しました。その後、子育て支援に関するさまざまな取組みを進めてきましたが、未だ子育てにおける母親の負担感は大きく、仕事と生活との両立、各種サービスの充実、地域の人々の理解・協力等、さまざまな課題がみられます。

後期計画では、前期計画の実績評価・見直しを行い、府中市が直面している課題に対応することで、子育ての喜びを感じることができるまちづくりをめざして策定を行いました。加えて、府中気質のものづくり精神等、府中市らしさを大切にしながら地域で協力し合って子育てをすることで、郷土愛を育み、子どもが健やかに育ち、府中市で子育てをしてよかったと実感できるまちをめざして、本計画を総合的に推進します。



● 計画の位置づけと期間

この計画は、次世代育成支援対策推進法第８条第１項の市町村行動計画に位置づけられるものです。さらに、府中市長期総合計画を具体化する健康地域づくり分野の個別計画であるとともに、府中市の次世代育成支援対策を推進する基本計画としての性格をもちます。



● 計画の策定にあたって（市民の声の反映）

市長の諮問に応じて答申する機関「府中市健康地域づくり審議会」が平成16年度に発足しました。この中に設置された分科会のうちの１つ、「次世代育成支援分科会」において、この計画の素案を審議しました。また、子育て支援に関する市民の生活実態や要望・意見を把握するため「府中市次世代育成支援後期行動計画策定に係るニーズ調査」を行いました。

計画の体系図

子育てに対する不安や負担を感じている母親が依然としてみられ、その解消のためには、最も身近な家族である父親や子育て経験者でもある祖父母の理解や協力が重要です。加えて、子育てを地域の人々全体で支え、見守ることも大きな安心につながることから、後期計画では、「**家庭力（父親・祖父母等）の促進**」と「**地域力の促進**」を重点として、６つの施策を進めていきます。

将来像

家庭で育み　地域で育む　子どもの健康

６つの施策の柱

1 子どもの育つ力の促進

子ども

☆出産期、乳幼児期からの食育の推進
☆教育環境の充実　☆次代の親へのステップ
☆子どもの虐待防止及び保護
☆子どもの心の健康づくり　☆安全な遊び場の確保

2 家庭力（父親・祖父母等）の促進

家　庭

☆マザーリング・ザ・マザーの普及啓発
☆祖父母の子育て支援の促進
☆保護者が子育てを学び、交流できる場の充実

3 地域力の促進

地　域

☆地域による子育て支援
☆子育てサロンの充実
☆交通安全・防犯対策

4 仕事と子育ての両立支援

職　場

☆ワーク・ライフ・バランスの普及啓発
☆保育サービス等の充実

5 市全体で支えるネットワークの充実

市全体

☆子育て支援ネットワークの整備
☆相談体制の充実
☆子育て支援拠点の充実

6 安心して子どもを生み育てる環境づくり

環　境

☆母子の健康づくり　☆医療体制の整備
☆子育てがしやすい生活環境づくり（バリアフリー、住環境等）☆経済的負担の軽減　☆ひとり親家庭・障害のある子どもをもつ家庭等の支援

6つの施策の方向性

① 子どもの育つ力の促進

子どもの幸せを第一に考え、子どもの利益が最大限に尊重されるよう配慮していくことを前提に、子どもたちがその個性を活かし、のびのびと自ら育つことができる環境を整備していきます。また、次世代の親づくりという視点から、将来、親となる心構えを準備するとともに、豊かな人間性を形成し、自立して家庭を持ち、安定した生活基盤が築けるよう、長期的視野に立った子どもの健全育成のための取組みを図ります。

② 家庭力（父親・祖父母等）の促進

子育ての本来の責任は父母等の保護者にあるにもかかわらず、その負担は母親一人に偏っていることが多い現状です。仕事が忙しくてなかなか子どもと一緒に過ごせない父親でもちょっとした時間にできる子育てはあるはずです。そのためにも、父親が子どもへの関わり方や母親に対するサポートの必要性を学ぶ機会が重要です。

加えて、子育て経験者である祖父母が子育てに参加できるきっかけづくりを行う等、まずは身近な人々からできる支援を進めていきます。

③ 地域力の促進

家庭における子育てだけでは限界があり、頼りになるのは身近な地域に住む人々です。温かい目で地域の子どもたちを見守っていくことは、大きな安心につながります。

今こそ地域の役割を再認識し、地域の子どもは地域で育てる意識を皆がもつことが重要です。地域でのかかわり合いの中で、地域の愛情に包まれて育った子どもたちはきっと、地域が好きになり、将来は住み慣れた“故郷”で子育てをしたいと思うことでしょう。

④ 仕事と子育ての両立支援

子育てにおける負担を軽減するためには、多様な働き方に対応した保育サービス等の充実に加えて、職場においても子育てを支援できるよう、長時間労働の見直しや仕事優先となっている働き方を見直し、仕事と家庭生活との調和（ワーク・ライフ・バランス）を推進していく必要があります。保護者が子どもと一緒に過ごす時間が確保できるよう、企業等に対して、子育てへの理解や職場環境の改善を周知・啓発します。

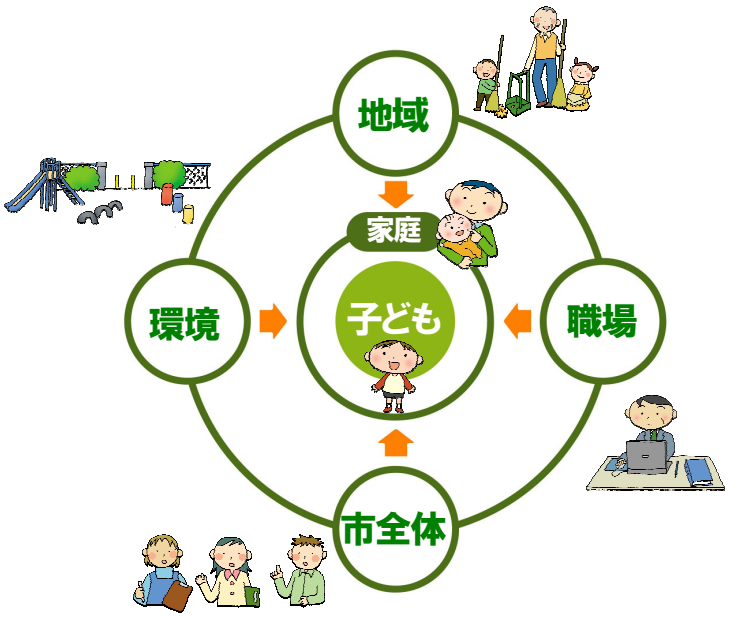
⑤ 市全体で支えるネットワークの充実

子育ての悩みや不安は、一人で抱え込まず、誰かに相談することで、緩和や解消に向かいます。

身近な人に相談することで気持ちが和らぐ場合もありますが、内容によっては、公的相談機関が対応しています。専門的なケースには、「府中市こころの支援ネットワーク」の関係機関が協力・連携し、対応していくという、重層的な相談体制を府中市では整備しています。これらの状況に応じた体制を住民に周知するとともに、市全体で有効に機能を活用していきます。また、気軽に相談できる市内各施設の機能を充実し、保護者への支援に努めます。

⑥ 安心して子どもを生み育てる環境づくり

安心して子どもを生み育てるためには、保健・医療体制の充実、生活環境の整備、経済的負担の軽減等、総合的な環境整備が必要です。また、支援を必要とする家庭も安心して暮らすために、家庭、保育所・幼稚園・学校、地域、関係機関、行政等が協働して、子育てにやさしい府中市をつくっていきます。



府中市における取組み例

取組み1　「パートナー支援事業」

府中市では、「マザーリング・ザ・マザー」という取組みを進めていますが、その一環として、主に子育て中の父親を対象に、乳幼児期の子育てに関する理解促進のためのふれあい遊びの場をつくる「パートナー支援事業」（土曜日親子教室）を平成21年度から始めています。

子どもが幼いうちから父親とたくさん遊び、ふれあうことは、その後の親子関係や夫婦関係にも非常によい影響を与えます。そのきっかけづくりとなるよう、今後も多くの父親の参加を呼びかけていきます。

取組み2　「ふれあいいきいきサロン」との交流

高齢者福祉事業の『ふれあいいきいきサロン』を活用して、地域の祖父母世代の方々と保育園児との交流事業を行っています。

子どもたちは、家族以外の地域の方々とふれあうことによって、“優しさ”や“ぬくもり”を感じ、地域での絆を深めています。

後期計画の数値目標

● 国の定める各事業にかかる数値目標

事業名		平成21年度 実績	平成26年度 目標事業量
通常保育事業 労働等により家庭等で保育ができない保護者の支援及び児童の健全な育成を図る	０歳児保育	47人	55人
	１、２歳児保育	233人	247人
	３歳児保育	264人	230人
	４、５歳児保育	574人	498人
延長保育事業 保護者の就労形態の多様化等に伴い、通常の保育時間を超えて預かる		260人 （８か所）	160人（８か所） １１時間を超える預かり
休日保育事業 保育所が休所となる日曜・祝日に保育を行う		定員　20人 （１か所）	定員　20人 （１か所）
病後児保育事業 保育所に通所中の病気回復期にある児童が、集団保育の困難な期間、児童を保育所、病院等に付設された専用スペース等において一時的に預かる		定員　４人 （１か所）	定員　４人 （１か所）
子育て短期支援事業（ショートステイ） 保護者が病気になった場合等に児童養護施設等において一時的に児童を短期間（７日程度）預かる		なし	１か所
一時保育事業 冠婚葬祭、保護者の疾病、入院等により緊急・一時的に保育を必要とする児童の保育を行う		定員　20人 （２か所）	定員　20人 （２か所）
特定保育事業 親の就労形態の多様化に伴う子どもの保育需要の変化に対応するため、３歳未満児を対象に週に２、３日程度、または午前か午後のみ必要に応じて柔軟な保育を行う		なし 通常保育事業または 一時保育事業で補えるため	なし 通常保育事業または 一時保育事業で補えるため
ファミリーサポート事業 保育等に関する援助を行う者と援助を受けたい者からなる会員組織で、センターが連絡及び調整し相互援助活動を行うとともに、講習その他必要な援助を行う		１か所	１か所
地域子育て支援拠点事業 地域の子育て支援情報の収集・提供に努め、子育て全般に関する専門的な支援を行う拠点として機能するとともに、地域支援活動を行う		３か所	５か所
放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ） 労働等により保護者が昼間家庭にいない小学校低学年児童を対象に、授業の終了後に学校の余裕教室等を利用して、指導員を配置し適切な遊び及び生活の場を与えて健全な育成を図る		350人 （９校　10か所）	350人 （８校　９か所）

●平成21年度実績は、平成22年２月時点での３月の実施見込みを記載しています。

前期計画の取組みの状況

前期計画では、**「総合的な相談窓口の整備」「子育て支援ネットワークの整備」を重点プロジェクト**として掲げ、府中市に暮らす人々が安心して子どもを生み育てられるまちづくりの基盤整備に努めてきました。

前期計画における目標事業量について、概ね達成できていますが、府中市の現状や社会・経済等情勢の変化により、未達成の事業もあります。引き続き、後期計画においても、設定した目標事業量の達成ができるよう取り組んでいきます。

● 特定14事業に係る実施状況

前期計画における特定14事業に係る実施状況は次の通りです。

事　業　名		平成16年度 実績	平成21年度 目標事業量	平成21年度 実績
通常保育事業	０歳児保育	20人	37人	47人
	１、２歳児保育	155人	222人	233人
	３歳児保育	304人	280人	264人
	４、５歳児保育	631人	576人	574人
延長保育事業		116人（５か所）	500人（10か所） ※うち20時まで１か所	260人（８か所） ※うち20時まで１か所
休日保育事業		なし	30人（１か所）	定員　20人 （１か所）
病後児保育事業		なし	４人（１か所）	定員　４人 （１か所）
子育て短期支援事業 （ショートステイ）		なし	８人 （他市町村の施設に委託）	なし
一時保育事業		10人（１か所）	20人（２か所）	定員　20人 （２か所）
特定保育事業		なし	なし	なし
ファミリーサポートセンター事業		１か所	１か所	１か所
地域子育て支援センター事業		２か所	５か所	３か所
つどいの広場事業		なし	地域子育て支援 拠点事業へ移行	地域子育て支援 拠点事業へ移行
放課後児童健全育成事業 （放課後児童クラブ）		258人（13か所） １～３年生対象	300人（10か所） １～６年生対象	350人 （９校10か所） １～３年生対象

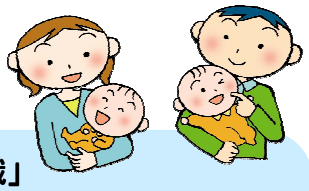
●平成21年度実績は、平成22年２月時点での３月の実施見込みを記載しています。

後期計画に係るニーズ調査結果分析

ニーズ調査は、平成21年１月１日現在、市内に居住する０歳～６歳までの子どもがいる家庭の中から就学前・小学生、各1,200世帯を無作為抽出し、実施しました。

ニーズ調査結果からみられる課題

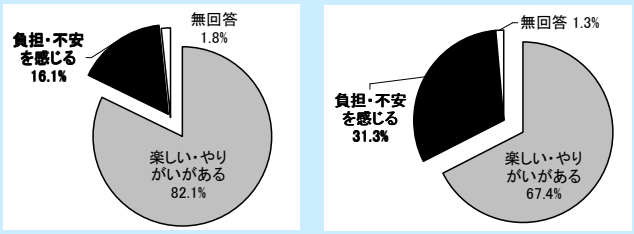
※「就学前」＝就学前児童の保護者の回答
「小学生」＝小学校児童の保護者の回答



「子育てに対する不安感や負担感」

子育てに不安や負担を感じている割合は、就学前２割弱、小学生３割強となっており、未だ不安や負担を感じている人がみられます。

■子育てに関する不安感や負担感について（左　就学前　右　小学生）



「子育てに関する悩みや不安の相談先」

就学前、小学生ともに「配偶者・パートナー」や「親族」、「友人」等、身近な人に多く、市や公的機関に相談する方は少数となっています。また、相談先の周知不足に対する意見も出ています。

「理想の子ども数と予定子ども数」

就学前、小学生ともに理想は「３人」、予定は「２人」が最も多く、その理由としては、「子育てにかかる経済的負担が大きいから」「仕事と子育ての両立が難しいから」「子育てに対する心理的・肉体的負担が重いから」が上位となっています。

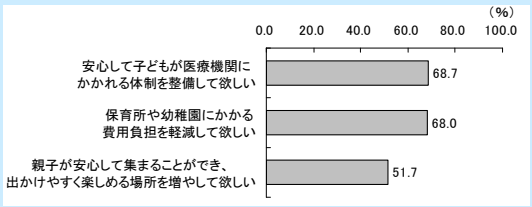
「仕事と子育ての両立意識」

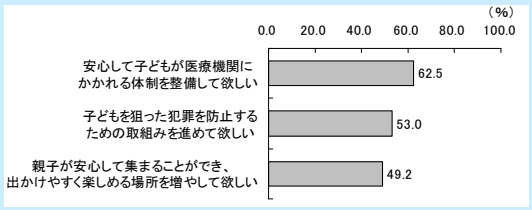
仕事と子育てを両立させる上で特に必要だと思う項目については、就学前・小学生ともに「家族の理解と協力」が最も高くなっており、次いで、「子育てに関する職場の理解」が上位となっています。

「市に対して望む子育て支援施策」

就学前・小学生ともに「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい」が６割を超えて最も高くなっています。そのほか、小児医療に関する意見も多く寄せられました。

■市に望む子育て支援施策　上位3項目（上　就学前　下　小学生）





家庭で育み　地域で育む　子どもの健康

府中市次世代育成支援後期行動計画

ーダイジェスト版ー

平成22年３月

［発行・編集］
広島県府中市市民生活部　児童課　　〒726-8601　広島県府中市府川町315番地
電　話：0847-43-7139/7136　ＦＡＸ：0847-46-3450
メール：jidou@city.fuchu.hiroshima.jp　ＵＲＬ：http://www.city.fuchu.hiroshima.jp
制　作：(株)ジャパンインターナショナル総合研究所　中国支社